

第26回 全日本少年フットサル大会北海道予選 道央ブロック大会 開催要項

1. 主 旨 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。また、フットサルを通じて、フットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発達を図ると共に、第26回全日本少年フットサル大会北海道予選の道央ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 第26回 全日本少年フットサル大会北海道予選道央ブロック大会
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 北空知地区サッカー協会、
5. 後 援 北海道教育委員会、公益財団法人北海道体育協会、
6. 特別協賛 ハウス食品株式会社
7. 期 日 2016年3月5日(土)～3月6日(日)
8. 会 場 砂川市総合体育館
(砂川市日の出一条南9丁目1-1 TEL:0125-54-2175)
9. 参加資格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル 4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する2004年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「4種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する2004年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり4名までとする。
 - (3) 本大会の地区予選を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (5) 各地区の大会を経て、所轄の地区協会が認めたチームであること。
 - (6) 本大会フットサル登録料(2,000円)を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
10. 参加チームとその数 参加チーム数は、次により選出された16チームとする。
各ブロックの出場枠は次のとおりとする。
千歳地区4チーム、小樽地区5チーム、空知地区4チーム、北空知地区3チーム。
11. 大会形式
 - (1) 1グループ4チームとして、4グループで1次ラウンド(総当たり戦)を行う。
 - (2) 決勝ラウンドは、予選各グループの1位、2位のチームが出場するトーナメント方式で行う。
 - (3) 決勝ラウンドの組み合わせは抽選とし、初戦では予選の同一グループ以外の1位と2位が対戦するよう配慮する。
 - (4) 3位決定戦を行う。
 - (5) 交流トーナメントは、予選各グループの3位のチーム4チーム、予選各グループの4位のチーム4チームでトーナメント戦を行う。
 - (6) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。

(7) 1 次ラウンドにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち 3、引分け 1、負け 0 とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

- ① 当該チーム間の対戦成績
- ② 当該チーム間の得失点差
- ③ 当該チーム間の総得点数
- ④ グループ内の総得失点差
- ⑤ グループ内の総得点数
- ⑥ PK 方式(1 チーム 3 名による 3 本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)により決定する。

12. 競技規則

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。

13. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチ

- ・大きさ: サイズは原則として、32m × 16m
- ・センターサークル: 半径 2.5m
- ・ペナルティーエリア四分円の半径: 5m
- ・ペナルティーマーク: 5m
- ・第 2 ペナルティーマーク: 8m、
- ・交代ゾーンの長さ: 4m
- ・タイムキーパーの机の前のエリア: ハーフウェーラインの両端からそれぞれ 4m

(2) 守備側競技者のボール等から離れる距離

- ・フリーキック: 4m
- ・コーナーキック: 4m
- ・キックイン: 4m

(3) 使用球は、フットサル 3 号球ボールとする。

(4) 競技者の数

- ・競技者の数: 5 名
- ・交代要員の数: 10 名以内
- ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数: 2 名以内

(5) ベンチに入ることのできる人数は 14 名以内(交代要員 10 名、役員 4 名以内)とする。

(6) ユニフォーム

- ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
- ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑤ 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- ⑥ ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- ⑦ その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会の「ユニフォーム規程」に則る。

- (7) 靴
キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)
- (8) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (9) 試合時間(ランニングタイムで行う)
- ① 1次ラウンド(総当たり戦)4チームずつのブロック。20分間(前後半各10分間)とする。
 - ② 1次ラウンド及び決勝ラウンドのハーフタイムのインターバルは3分間、準決勝・決勝は5分間とする。
 - ③ 順位決定及び交流トーナメントは、20分間(前後半各10分間)のランニングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは3分間とする。
- (10) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
- ① 予選リーグは引分けとする。
 - ② 決勝トーナメント1回戦及び順位決定及び交流トーナメントにおいて勝敗が決定しない時は、PK方式(3人)により勝敗を決定する。
 - ③ 決勝戦および3位決定戦においてはプレーイングタイムを採用し20分(前後半各10分、ハーフタイム5分)とする。ただし、同点の場合は6分(前後半各3分)のプレーイングタイムの延長戦を行いなおも決しない場合はPK方式(3人)により決定する。
 - ④ 延長戦に入る前のインターバルは5分間とする。
 - ⑤ PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- (11) タイムアウトは決勝戦・3・4位戦を除いて適用しない。
14. 懲 罰
- (1) 本大会の地区予選は、懲罰規程上の同一競技会とみなし、予選終了時点で未消化の出場 止処分は、本大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
 - (2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
 - (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
 - (4) 前項により出場停止処分を受けたとき、1次ラウンド終了時点で警告の累積が1回るとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
 - (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合(北海道予選に出場する当該チームは本大会)にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
 - (6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の規律・フェアプレー委員会が決定する。
15. 参加料等
- 参加料 13,000 円(消費税込)
16. 参加申込
- (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名・役員4名とする。
 - (2) 参加申込は所定の申込書(Excel)に必要事項を記入し、期日までに申込先に E-mail で送付すること。
 - (3) 参加料 13,000 円は当日の受付時に納入すること。
 - (4) 申込締切日 2016年3月1日(火) 17時まで 厳守
 - (5) 申込締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。

(6) 申込先 空知地区サッカー協会

〒079-0312 奈井江町字奈井江町 227-16

北空知地区サッカー協会 第4種委員長 須藤 章

E-mail naiejfc@gmail.com

・参加申込書(E-mail) 選手登録番号を必ず記載のこと

・懲罰アンケート(E-mail)

※親権者同意書・プライバシーポリシー同意書の提出は不要。

17. 組合せ (1) 予選リーグの組合せは、各地区代表を地区予選の順位をもとに振分ける。
(2) 決勝トーナメントの組合せについては、1日目全試合終了後に抽選を行う。
18. 帯同審判 参加チームは、3級以上の公認フットサル審判員を1チームにつき1名必ず帯同させること。不帯同は認めない。
19. 監督会議 (1) 日 時 : 2016年3月5日(土) 9時00分から
(2) 会 場 : 砂川市総合体育館1階会議室
20. 開会式 行わない。
21. 表彰及び閉会式 (1) 優勝、準優勝、第3位には表彰状及びトロフィーを授与する。
(2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場で行う。
22. 負傷及び事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
23. その他 (1) マッチコーディネーションミーティング
各試合競技開始時間の75分前(ただし、第1試合は試合開始30分前)に、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員とマッチコーディネーションミーティングを行う。このミーティングにおいて、両チームのユニフォームの決定、メンバー提出用紙の回収、電子選手証等の確認、諸注意事項の説明等を行う。
(2) 電子選手証等
各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行のフットサル電子登録証の写し(写真が登録されたもの)または選手証(写真が貼付されたもの)を、監督会議及び試合会場に持参すること。いずれかが確認できない選手は、試合の出場を認めない場合がある。
(3) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
(4) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
(5) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
(6) 第3位までのチームには、2016年7月9日(土)~7月10日(日)に北海道立野幌総合運動公園総合体育館で開催されるバーモントカップ第26回全日本少年フットサル大会北海道予選の参加を義務づける。

以上